

やとみの福祉

第27号

新年あけましておめでとうございます!

今年度も赤い羽根共同募金児童・生徒作品コンクール・福祉体験作文コンクールを実施しました!



ポスターの部 金賞 柴田帆乃花さん



書道の部 金賞 川村芽生さん

おめでとう!



表彰式での朗読発表



福祉体験作文コンクール 最優秀賞 鈴木桃花さん

数字で見る
弥富市の福祉
(平成30年12月1日現在)

・人口	44,412 人	・身体障害者手帳所持者数	1,382 人
・世帯数	17,735 戸	・療育手帳所持者数	318 人
・老年人口 (65歳以上)	11,341 人	・精神障害者保健福祉手帳所持者数	373 人
・老年人口率 (65歳以上の人口比率)	25.5%	・年少人口 (14歳以下)	5,726 人
・要介護認定者数	1,236 人	・年少人口率 (14歳以下の人口比率)	12.9%
・要支援認定者数	549 人		

発行・編集



弥富市社会福祉協議会

<http://www.shakyo.or.jp/hp/1069/>
〒498-0021 弥富市鰐浦町上本田95番地1

新年のごあいさつ



社会福祉法人 弥富市社会福祉協議会
会長 八木 輝 美

年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。
皆様には、清々しい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、旧年中は、社会福祉協議会会費、赤い羽根共同募金をはじめ、
本会の活動に對しまして、温かいご支援とご協力を賜りましたこと、厚
くお礼申し上げます。

近年、年齢を重ねても可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい生
活が続けられるよう、地域の包括的な支援・福祉サービスの提供体制
の構築が求められています。

この実現のためには、行政サービスのみならず、ボランティアや民間福
祉サービス等の多様な重層的な支援体制が必要であり、同時に元氣な
高齢者が生活支援の担い手として活躍するなど、地域の住民同士の支
え合い活動がますます重要とされています。

本会においても、ひとり暮らし高齢者を対象とした「ふれあい昼食会」、
障害児・者対象の「機能回復訓練」、母子・父子家庭対象の「社会
見学（体験学習）」、小中学生を対象とした「福祉実践教室」、「ボラ
ンティア体験学習」などのさまざまな福祉事業の実施を推進していくと
ともに、訪問介護事業や障害者相談支援事業などの福祉サービスを充
実させ、「市民の誰もが安心して自分らしく、いきいきと自立した生活
ができる地域社会の実現」を目指し、各種福祉事業の推進を図ってま
いります。

本年も、役職員一丸となり、努力を続けてまいりますので、一層のご
支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様にとりまして、この一年が幸多き年となりますよう心か
らお祈り申し上げ、新年のあいさついたします。

市長ごあいさつ



弥富市長 安 藤 正 明

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、希望に満ち
た新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、平素は弥富市の福祉施策をはじめ、市政各般にわたり格別
のご協力をいただき、心から厚くお礼申し上げます。

弥富市社会福祉協議会におかれましては、地域福祉の中核的な役割
を担う機関として、地域福祉の充実などにご尽力をいただいております、会
長をはじめ役員並びに会員の皆様の福祉に対するご熱意に對しまして、
深甚なる敬意を表します。

さて、現在国では、社会福祉法の改正により各自治体において、地
域のすべての市民が役割を持ち、支えあいながら、自分らしく活躍でき
る地域コミュニティを育成し、公的な支援と協働して助け合いながら暮ら
すことのできる「地域共生社会の実現」に向けた取り組みを推進してい
ます。弥富市社会福祉協議会が取り組んでいただいているさまざまな活
動は、この地域共生社会の実現につながるものと期待しております。

本市といたしましては、これからも弥富市社会福祉協議会とともに
関係機関や地域の皆様との連携・協力のもと、地域福祉の一層の推進
に取り組んでまいります。

最後に、本年も明るい地域社会実現のため、会員の方々の一層のご支
援・ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、市民の皆様
方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせてい
ただきます。

トピックス

●愛知県社会福祉大会で 44名表彰

10月30日、愛知県体育館で『第66回愛知県社会福祉大会』が開催され、福祉の発展に貢献された民生委員や各種団体の役職員が表彰されました。弥富市からも次の方々が表彰されました。おめでとーございます。

(※敬称略)

愛知県知事表彰状

古川富睦

愛知県知事感謝状

(民生委員30年以上)

遠藤東子

(民生委員10年以上)

小林福子、石原民子、武知真紀子

柴雅雄、白木紘美、浦田和世

松岡静子、伊藤正光、久留宮良孝

(社会福祉施設・団体役職員)

安田麻里、服部美和、本田祥子

後藤明美、水谷多恵子、伊藤千春

山田久代

愛知県社会福祉協議会長表彰

(民生委員・児童委員)

大谷雅子、山本明美

(社会福祉施設・団体役職員)

関戸法子、三輪佳子

愛知県社会福祉協議会長感謝状

(社会福祉施設・団体役職員)

中村寿美、原 悠介、星野芳江

上野慶子、夏目八千代、伊藤 豊

安部幸代、中村登子、松山理恵

服部美和、照井志野、川村奈美

松川さゆり

(市区町村社会福祉協議会役員)

八木輝美、浅野美喜子、伊藤 功

児玉日佐美、山崎昭道、服部澄代

伊藤敏弘、垣見忠廣



●金婚夫婦お祝い

11月3日、市総合福祉センターで結婚50年の節目を祝う『金婚式』を開催しました。

このたび、めでたく58組のご夫婦が金婚を迎えられ、式典で市

より記念品等の贈呈が行われた後、和やかな雰囲気でお食やアフトラクションが行われました。金婚を迎えられた皆様、誠におめでとーございます。



●『ふく婚パーティー』 カップル4組誕生

12月2日(日)市総合福祉センターで『やとみふく婚パーティーXmas』を開催しました。

男性18名、女性12名で実施しました。当日は、クリスマスキャンドルづくりやトークなどでコミュ

ニケーションを深め、楽しいひと時を過ごしました。

そして、運命のカップリング発表では、見事、4組のカップルが成立しました！カップルになられた皆様、おめでとーございます。



地区別ふれあい昼食会を開催しました

市内の65歳以上のお一人暮らしの方々をお招きして、
会食やレクリエーションにより、交流を深めました。

日の出・桜地区 ヤクルト健康教室



大藤・栄南地区 ギター部「たんぽぽ」の演奏



白鳥地区 マジックショー



十四山地区 十四山保育所児と交流



笑顔こぼれる
楽しいひと時

弥生地区 音楽レクリエーション



会場では、友人との数年ぶりの再会に
懐かしむ声や、保育所児との交流に
笑顔が溢れていました。
これからも、参加者同士がつながり、
地域の輪が広がる機会を皆さんと
ともにつくっていきます。

団体紹介

弥富市身体障害者福祉会

【主な活動報告】

5/19 (土)	愛知県障害者スポーツ大会 (参加)	豊田市運動公園陸上競技場
7/20 (金)	機能回復訓練研修会	青蓮寺湖ぶどう狩り
7/26 (木) 8/9 (木) 9/11 (火)	サロン活動 (新規) 会員が気軽に集まれる場として 自由なプログラムで企画。 (室内レク)	市総合福祉センター
9/27 (木)	グランドゴルフ大会 (参加)	岩倉市八剣町憩いの広場グランド
9/23 (日・祝)	カラオケ交流会 (参加)	名古屋文理大学文化フォーラム
11/7 (水)	機能回復訓練研修会	恵那峡にて紅葉鑑賞
12/6 (木)	街頭キャンペーン (障害者週間)	近鉄弥富駅

昨年の全国障害者スポーツ大会 (愛媛県) 卓球の部で 3 位の会員が今年も同大会 (福井県) にチャレンジしました。まずは、愛知県の選考会がありましたが、予選を通過できず、本人が一番拍子抜け。来年こそは全国 1 位を目指して頑張ってください。会員一同、応援しております。

弥富市身体障害者福祉会会長 山崎昭道

弥富市心身障害児 (者) 父母の会「ひまわり会」

皆様、新年あけましておめでとうございます。

本会は、心身障害児 (者) 及び父母の連絡調整を図るとともに、社会への自立を目指し、福祉増進に寄与することを目的とした団体で、啓発活動や研修、会員相互の連絡や親睦など各種事業を行っております。

なかでも、会員の皆さまがとても楽しみにしている行事の一つであるクリスマス会を 12 月 9 日に無事終えることができました。その他の行事にも多数のご来賓の方々にお越しいただき、温かいご支援、ご協力をいただき様々な行事が行えている現実に大変感謝しております。今後も変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。

また、広域事業として海部地区心身障害児者保護者会連合会主催のもと「ふれ愛チャリティーコンサート」が開催されますので、お誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

ひまわり会会長 服部澄代



山川豊

とき 2月11日 (月・祝) ところ 津島市文化会館 開演/午後2時～

出演者 山川 豊 協力金 3,000 円

問い合わせ 弥富市心身障害児 (者) 父母の会「ひまわり会」服部澄代 ☎67-4588

赤い羽根共同募金 入賞作品紹介!

今年度も赤い羽根共同募金作品及び福祉体験作文コンクールが実施され、市内各小・中学校から多数の作品が寄せられました。入選作品と入選者を御紹介します。



銅 太田 里香



銀 北浦 結衣



金 柴田 帆乃花

県共募銀賞

六年 募共 金同 浅野 佑太



銅 浅野 佑太

三年 地域 福祉 活動 小瀬水 琉郁



銀 小瀬水 琉郁

二年 共同 募金 運動 川村 芽生



金 川村 芽生

【福祉体験作文コンクール表彰】

賞	学 校	学年	氏 名
最優秀賞	弥 富 中	2 年	鈴木 桃花
優秀賞	十四山東部小	6 年	渡邊 優翔
秀逸	弥富北中	1 年	野間 結惺
	桜 小	6 年	矢神 葵
入選	十四山中	2 年	水谷 海莉
	弥富北中	1 年	山岸 楓
	白 鳥 小	6 年	百合草梨葵
	桜 小	4 年	太田 有哉
佳作	十四山中	2 年	早川 稀々
	白 鳥 小	5 年	稲垣 呼音
	十四山東部小	5 年	土方 茉結
	日の出小	4 年	長瀬 優杏

【ポスターの部】

賞	学 校	学年	氏 名
金賞	日の出小	3 年	柴田帆乃花
銀賞	弥 富 中	1 年	北浦 結衣
銅賞	十四山中	1 年	太田 里香
入選	弥 生 小	5 年	佐藤 文音
	十四山西部小	4 年	桑野 大和
	十四山東部小	3 年	渡邊 蓮生
	桜 小	2 年	田尾 恵
佳作	弥富北中	1 年	小出 彩果
	大 藤 小	6 年	佐野 光
	栄 南 小	6 年	伊藤悠璃彩
	白 鳥 小	3 年	加藤万花奈

【書道の部】

賞	学 校	学年	氏 名
金賞	弥 富 中	2 年	川村 芽生
銀賞	十四山中	3 年	小瀬水琉郁
銅賞	十四山東部小	6 年	浅野 佑太
入選	弥富北中	3 年	大江 悠月
	日の出小	5 年	鈴木 暖杏
	弥 生 小	4 年	伊藤 里紅
	十四山西部小	4 年	徳村 心那
佳作	白 鳥 小	6 年	槇 涼音
	桜 小	6 年	牛山 沙羅
	栄 南 小	6 年	安保 心音
	大 藤 小	5 年	伊藤 真緒

福祉体験 作文コンクール

最優秀作文を
紹介します



私にできること

弥富中学校 二年 鈴木 桃花

以前テレビで、高校生の人達が地下鉄で心臓発作を起こして倒れた人を助けたというニュースを見ました。AEDを使って電気ショックをした後、心臓が動き出し、呼吸も戻ったそうです。助けた高校生の人達は、中学生のときにAEDの使い方をボランティアサークルで学んだとのことでした。同じくらいの年齢の人達による人助けのニュースに、私は大きな衝撃を受けました。

このニュースを知ってから数か月後、弥富市の広報で、海部南部消防組合が開催している救命活動の講習会があるということを知りました。私は、この講習に参加したいということをお母さんに伝えました。申し込む際に、中学一年生でも参加できるかを聞くと、消防組合の方から、

「心配しないで来てね。興味をもってくれたことがうれしいよ。がんばろうね。」

と声をかけてもらい、安心して参加することができました。

当日は、叔母と二人で講習会に参加しました。参加者は十名程度でした。講習は三時間で、日々の救命活動の実体験を聞くことから始まり、

た。たった二人の力では、できることも助けることも限られるけれど、協力することによって助かる確率が上がることを知りました。例えば、外でAEDを使用する場合、肌が見えてしまうという心配には、人を多く呼び、人のカーテンを作って覆うことでその人が見えないように守ることができるということを知りました。また、大人でないからできることがないというわけではなくて、大きな声で助ける仲間を集めることや、AEDを走って持つてくること、救急車を呼ぶことなど、緊急時に、自分にできることはたくさんあるということを知りました。

講習では、緊急時を想定して、実際に人を呼ぶところからのシミュレーションをしました。いよいよ私の番です。なかなか大きな声が出せません。何度もやり直すうちに、少しずつ声が大きく出せるようになってきました。周りの大人の人達から、

「しっかり声を出せていたよ。」

と声をかけてもらうことができた。私の声が小さいときには、ペアの人には聞こえずに次の行動を取ってくれませんでした。このシミュレーションでは、声を出し合うこと、声を掛け合うことの大切さを学びました。「死戦期呼吸」という言葉がどんな様子なのか講習に参加するまで知りませんでした。私が講習に参加した五日後、高校の野球部のマネージャーが倒れ、亡くなったニュースを見ました。呼吸があつたので、AEDは使わずに救急車の到着を待っていたそうです。しかし、その呼吸は心停止状態になつても呼吸しているように見えるという「死戦期呼吸」の可能性があつたそうです。きつと誰か知っている人がいたら、AEDを使つたでしょう。救命についての知識をもっておくことの大切さを改めて実感しました。

シミュレーションの中で、胸骨圧迫も体験しました。胸骨圧迫はとても力のある作業で、中学生の女子の力では、目標の強さ、速さではできませんでした。大人の人でも、体力的に厳しいので、何人も交代して行うことの大切さを学びました。だからこそ、協力してくれる人を集めることが必要なのだということも知りました。また、自分の身近な人が心筋梗塞や脳卒中になつたときにも、胸骨圧迫をしたほうがいいのかを質問

しました。すると、体に血液を送ることはいいことなので、したほうがいいということをお教へてもらいました。

三時間の講習の後、修了証をもらいました。日々の生活の中で、「困っている人がいたら声をかけること」「できる手助けをすること」は、当たり前のことです。一人一人の優しい気持ちの輪が広がることが、福祉の入り口だと思いました。今回の講習を受けて、自分のような子どもであってもできることはたくさんあることを知りました。一度の参加ではなく、定期的に参加して、いざというときに行動できる人になりたいです。

私たちは、十八歳で成人になる初めての世代です。あと四年でもう大人です。自分にできることをしっかりと増やしていきたい、みんなが助け合い、安心して生活していける街づくりに参加していきたいです。その第一歩として、自分のやってみようという気持ちを大切に、これからも福祉について考えていきます。

本会としては、住みよい福祉のまち「弥富」として発展するためにも、支えあうことが自然にできる生徒が増えるよう福祉教育に力を入れてまいりたいと思います。

本会ホームページに作文集を掲載しています。ぜひご覧ください。

成年後見制度普及啓発講演
・ボランティア各種講座

参加費無料

「なぜ成年後見制度が必要なのか？」



高齢社会白書によると、65 歳以上の認知症高齢者は、平成 24（2012）年では約 7 人に 1 人であったのが、37（2025）年には約 5 人に 1 人になるとの見通しです。

成年後見制度は、判断能力が十分でない方々を法律面や生活面で保護したり支援したりする制度です。認知症が始まってから動き出すのではなく、制度を知っていれば、いざという時に制度の活用に迷わず、余裕を持って動けます。

災害もそうですが、将来を見越して備えておくことが肝心です。

自分だけに限らず、家族のこともあります。自分や家族のために、いざという時、誰が支えてくれるのか。考えるきっかけとして、まずは、知識を深めてみませんか。



みやもと ひでゆき

講師

宮本英行 氏（弁護士）

愛知県弁護士会「高齢者・障害者総合支援
センター運営委員会（アイズ）」第5部会長

制度の理念（なぜこの制度ができたのか）、歴史的背景や
必要性、法定後見と任意後見の概要、市民後見の仕組み
や動向などわかりやすく解説します。

■日時 **1月27日（日）**
午後1時30分から
（受付午後1時）

■場所 弥富市総合福祉センター 研修室
（弥富市鰺浦町上本田 95-1）

■対象 弥富市ボランティア連絡協議会
会員及び一般市民

■主催 弥富市社会福祉協議会・弥富市ボランティア連絡協議会

時間	内容
1 : 00	受付
1 : 30	あいさつ
1 : 40	『成年後見制度とは』 （ビデオ上映）
1 : 45	講演
3 : 30	質疑応答

◎問い合わせ TEL (0567) 65-8105 FAX (0567) 65-8002

チャレンジ ハウスだより

新年明けましておめでとうござい
ます。昨年も多くの方々に温かいご支
援をいただき、誠にありがとうございました。

8月30日に、チャレンジハウス弥富、
地域活動支援センター十四山との合
同夏祭りを開催しました。

前回は台風の接近により、中止にな
ってしまい、今年度も「異常気象」と
言われるぐらい、大雨、台風、などの
自然災害が多く起きているので、「夏
祭りできるかな？」と利用者からも心
配する声が聞こえていました。ですが、



その心配をよそに、迎えた当日は、猛
暑ではありましたが、2年越しの楽し
みにしていた行事を行う事が出来まし
た。

金魚すくい、けん玉作り、輪投げ、
おやつ作りなど、各ブースを回り楽し
みました。

昼食後は、アトラクションとして、
フラダンスサークルの方を招待し、参
加者全員で「フラダンス」を体験しま
した。初めての利用者が多く、動きの

一つ二つが難しいので、最初は曲に合わ
せて体を揺らすことが大変でしたが、
だんだん曲に合うようになり、利用者
も踊れるようになりました。

昨年度、合同夏祭りが中止になつた
分、両事業所の利用者も今年度は目
がキラキラしていました。また、「合
同夏祭り」が開催できるように願うば
かりです。



チャレンジハウス弥富

利用者が、一つ一つ手作りの製品を作っています。
利用者みんなが、少しでも製作に携わっている、製品になっています。
手作りの温かさを感じていただけたらと思います。



牛乳
パックいす



あずま袋



ヘアー
アクセサリ



立体マスク



ランチョン
マット



ふくろう
ホルダー



BOX
ティッシュ
ケース

他にも、巾着・アームカバーなどの
小物もあります。施設内で販売しております。
注文なども受け付けています。

お気軽にお問い合わせください

☎0567-65-8008

〒498-0021 弥富市綱浦町上本田95-1

総合福祉センター附属棟1階 チャレンジハウス弥富 平日 9:00~17:00

愛知県ボランティア功労賞 受賞!

今回、愛知県ボランティア活動功労者表彰を頂いたチャレンジハウス弥富ボランティアは、弥富市総合福祉センター内の就労継続支援B型施設で活動しているグループです。この受賞は、ボランティア設立34年の長い間継続して活動してきた先輩方の努力の賜物であります。ボランティア活動は、ボランティア自身だけでなくボランティアを受け入れてくれる方々やボランティア活動を支援してくれる方々の共助により成り立っていますので、関係者の皆様方にも感謝を申し上げます。この受賞が、ボランティア活動に参加している方々や今後ボランティア活動を志す方々の励みになれば幸いです。

チャレンジハウス弥富ボランティア同



相談無料

相談コーナー



弁護士による成年後見・相続・生前贈与相談 毎月第1水曜日

総合福祉センターで**弁護士**による成年後見・相続・生前贈与相談（予約制・1人50分）が受けられます。市内にお住まいの方または事業者の方々、お気軽にお申し込みください。

（平成31年度開始）司法書士による相続・登記・成年後見相談 奇数月第3水曜日

十四山総合福祉センターで司法書士による相続・登記・成年後見相談が受けられます。（予約制・1人30分）です。市内にお住まいの方または事業者の方々、お気軽にお申し込みください。

結婚相談

○市内に住所を有する方 ○市内事業所等に勤務する方

○結婚後、弥富市に定住する意思のある方

上記のいずれかに当てはまる、満20歳以上の結婚希望者に無料で相談や出会いの場を提供します。ご希望される方は事前にお申し込みください。なお、登録は相談日以外でも受付可能です。

法律・心配ごと相談

市内の方ならだれでも、どんな困りごとでも無料で相談に応じています。

相談内容等はすべて秘密厳守ですので、お気軽にご利用ください。

相談員 / 民生委員・人権擁護委員・行政相談員など

※弥富本部では**弁護士**による無料法律相談（予約制・1人30分）も行っています。

ご希望される方は事前にお申し込みください。

生活自立支援相談

「家賃が払えない」、「仕事がなかなか見つからない」、「病気で働けない」等の理由で悩んでいる方又は、家族のことで悩んでいる方、無料で相談に応じています。



相談スケジュール

※通常実施日以外

	成年後見・相続 生前贈与相談(弁護士)	結婚相談	法律(弁護士)/心配ごと 弥富本部	心配ごと 十四山支部	相続・登記・ 成年後見相談 (司法書士)	生活自立支援 相談
1月	8日※(火)	9日	9日・23日	16日		8日・15日
2月	6日	13日	13日・27日	20日		12日・19日
3月	6日	13日	13日・27日	20日		12日・19日
4月	3日	10日	10日・24日	17日		9日・16日
5月	9日※(木)	8日	8日・22日		15日	14日・21日
6月	5日	12日	12日・26日	19日		11日・18日
7月	3日	10日	10日・24日		17日	9日・16日
曜日	第1水曜	第2水曜	第2・第4水曜	第3水曜		第2・第3火曜
予約	必要	必要	(法律)必要/(心配ごと)不要	不要	必要	不要
場所	市総合福祉センター			十四山総合 福祉センター		市役所 (図書館棟3階)
時間	午後1時～4時				午後1時～3時	午前9時～正午

問い合わせ先・
ご予約先

弥富市社会福祉協議会
TEL 0567-65-8105 FAX 0567-65-8002